

令和6年10月8日

各位

富山県衛生研究所長  
(公印省略)

令和6年度 富山県衛生研究所 研究成果発表会の開催について (ご案内)

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、当所の研究成果を県民の皆様にご理解いただくため、下記により研究成果発表会を開催いたしますので、ご多忙中とは存じますが、是非ご参加をいただきますようお願いいたします。

記

- 1 日時 令和6年11月15日(金) 14:30~16:40
- 2 場所 富山県薬事総合研究開発センター 創薬研究開発センター2階大会議室  
射水市中太閤山17-1 TEL: 0766-56-5506 (衛生研究所代表)  
※オンライン参加可能 (Zoom 使用)
- 3 内容
  - (1) 衛生研究所の概要
  - (2) 基調講演 「mRNA ワクチンと共に歩む社会」 所長 大石 和徳
  - (3) 研究成果発表
    - ① こどもたちの健やかな成長を支援するための新生児マススクリーニング検査について—これまでの成果と新たな取り組み—  
研究企画部 上席専門員 九曜 雅子
    - ② 感染症の流行モニタリングを目的とした下水流入水ウイルス調査 ～ ポリオから新型コロナウイルス感染症へ～  
ウイルス部 主任研究員 板持 雅恵
    - ③ “人食いバクテリア” 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)の現状  
細菌部 研究員 池田 佳歩
    - ④ 農産物の残留農薬試験について (富山の食の安全確認のために)  
化学部 副主幹研究員 中山 恵理子
- 4 定員 60名程度 (現地参加、先着順)  
申し込み多数の場合、来場をご遠慮いただく場合があります。
- 5 参加申込み  
別紙裏面の参加申込み方法により、11月8日(金)までにお申し込みください。
- 6 その他  
詳細は、別紙をご覧ください。

連絡先：富山県衛生研究所 研究企画部 新保  
電話 0766-56-8146 FAX 0766-56-7326  
e-mail aeiseikenkyu☆pref.toyama.lg.jp

※ ☆は@に置き換え願います。

# 令和6年度 富山県衛生研究所 研究成果発表会

1. 日時 令和6年11月15日(金) 14:30~16:40
2. 場所 富山県薬事総合研究開発センター 創薬研究開発センター 2階大会議室

## 3. 内容

### (1) 開会・衛生研究所の概要 (14:30~14:40)

### (2) 基調講演 (14:40~15:10)

#### 『mRNA ワクチンと共に歩む社会』

所長 大石 和徳

COVID-19 のパンデミック宣言から4年半が経過しました。この間、世界中の社会活動及び経済活動は停滞し、多くの人命が失われました。一方、mRNA ワクチン開発という大きな科学技術の前進の機会を提供しました。わが国では mRNA ワクチンの初回シリーズ接種が2021年上半期から1日100万人ペースで実施され、その結果、高い死亡抑制効果が示されました。本講演では mRNA ワクチンの意義と役割について概説します。

### (3) 研究成果発表 (15:10~16:40)

#### ① こどもたちの健やかな成長を支援するための新生児マススクリーニング検査について—これまでの成果と新たな取り組み—

研究企画部 上席専門員 九曜 雅子

新生児マススクリーニングは、新生児の血液を用いた検査により、先天性の病気を早期に発見し、早期に治療を開始することで、その病気による障害の発生を予防または軽減することを目的としています。今回は、新生児マススクリーニング検査における成果を報告するとともに、新たな病気の発見に向けての取り組みについても紹介します。

< 休憩 10分 >

#### ② 感染症の流行モニタリングを目的とした下水流入水ウイルス調査 ～ ポリオから新型コロナウイルス感染症へ～

ウイルス部 主任研究員 板持 雅恵

下水流入水には、流域住民から排出された糞尿や唾液中に存在するウイルスが含まれていることが知られています。そのため、下水流入水中のウイルスを検査することにより、流域住民の感染状況を検知することができます。これまで下水道ウイルス調査は、医療機関を受診した患者数をモニタリングする感染症発生動向調査を補完する役割で、実施されてきました。今回の発表では、当所で長く行われてきた下水調査による腸管系ウイルスの流行状況、そして新たに新型コロナウイルス感染症の流行把握等の活用事例についてご紹介します。

#### ③ “人食いバクテリア” 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)の現状

細菌部 研究員 池田 佳歩

劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)は、主に3つのβ溶血性レンサ球菌(A群、B群、C・G群)による感染症です。STSSはショックや臓器不全を伴う致死率の高い疾患で、「人食いバクテリア」とも呼ばれています。全国のSTSS報告数は昨年秋から急増していますが、その原因はA群によるSTSSの増加です。今回は本疾患について、特徴や注意すべき点、当所での取り組みについて解説します。

#### ④ 農産物の残留農薬試験について (富山の食の安全確認のために)

化学部 副主幹研究員 中山 恵理子

富山県では、県産農産物の安全性確認を目的とした残留農薬検査を実施しています。現在の規制では、食品ごとに全ての農薬について許容残留量の基準値が設定されているため、多数の農薬が検査対象となります。食品成分の中から微量の農薬を精度良く、迅速に検出・定量するために当所で行っている取り組みと近年の検査状況について紹介します。

4. 定員、その他留意事項

(1) 現地参加：定員 60名程度（先着順）

申し込み多数の場合、来場をご遠慮いただく場合がございます。その場合には、その旨ご連絡いたします。連絡がない場合は、来場可能です。

(2) オンライン参加

参加申込書の参加方法欄の「オンライン」に〇印をつけて下さい。後日、ZoomのURL等をメールでお知らせします。

(3) 新型コロナウイルス感染症に係る感染対策

①次の事項にあてはまる方は、来場をお控えいただきますようお願いいたします。

- ・発熱や風邪症状がみられるなど体調不良の方

5. 参加申込み、お問合せ

下記の申込書の事項を記入のうえ、11月8日（金）までに、FAXまたは参加申し込みフォーム（URL：<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/3m2Nbupo> または二次元コードの読み取り）により申し込みください。事前申し込みがない場合、入場をご遠慮いただく場合がございます。



ご不明な点などは、研究企画部（TEL：0766-56-8146）までお問合せください。

\*\*\*\*\*

富山県衛生研究所 研究企画部 行き（FAX：0766-56-7326）

令和6年度富山県衛生研究所 研究成果発表会 参加申込書			
所属		担当者	
電話番号		E-mail	
参加者氏名	部署・役職等		参加方法
			来場・オンライン
			来場・オンライン
			来場・オンライン
			来場・オンライン
			来場・オンライン

※ ご記入いただいた情報は、本発表会の実施に係る業務以外には使用いたしません。

※ E-mailでの申し込みの場合、上記事項をメール本文に記載していただくことも結構です。